

三春病院経営プランの点検結果一覧

1. 町立三春病院の果たすべき役割

No	取組項目	内容	状況		点検・評価	
			実施年度	28年度		
1	基礎的医療の提供	サブ急性期を中心とした機能の提供	20年度	継続	・26.4月ダイヤルイン回線使用について各消防署に再依頼し受け入れ体制強化を図った。 ・年間の救急車受入れ件数188件(前年比-97件) ・年間の救急車入院件数101人(前年比-33人)	
2		往診、訪問医療の機能充実	22年度	継続	・22.4月訪問リハビリ、22.7より往診・訪問診療を継続している。 ・26.7月訪問看護ステーションを開設リハビリ職員配置した。	
3		各種検査等の機能維持	20年度	継続	・27.4月常勤内科医師入職し、内視鏡検査日を増加。検診1,289人(前年比+25人)。CT検査受託397件(前年比+11人)。	
4		土曜診療の実施	20年度	継続	・内科、耳鼻咽喉科は終日診療。小児科は午後、産婦人科は隔週で実施している。	
5		診療科の増設	受診者の動向により診療科の新設を検討する。	20年度	継続	・23.6月から小児科外来を毎週水曜日午前と土曜日午後に変更。 ・26.10月耳鼻科外来は毎週土曜日午前半日を1日に増加した。27.1外科外来は毎週金曜日と第1火曜半日と第4木曜半日に増加した。
6		モニター制度や満足度調査の実施	病院意見箱の設置、満足度調査の実施	20年度	継続	・7,10,3月モニター会議を開催。6月外来満足度調査は76名の回答。全体として82.9%が病院に満足していると回答。 ・12月入院患者満足度調査の結果、87%が満足と回答。
7			ホームページでの意見収集	20年度	継続	・ホームページ上に病院のアドレスを開示し、意見収集ができる体制をとっている。
8	一次救急医療としての機能	休日や夜間における初期段階の救急患者や比較的軽度の症状の患者の受入	20年度	継続	・救急指定日は3日で来院176人、入院2人。救急指定日以外では来院1,477人(±0人)、入院644人(+44人)を受け入れ。救急車搬入者は188人。	

2. 公的医療機関としての役割

No	取組項目	内容	状況		点検・評価	
			実施年度	28年度		
9	地域医療の充実	地域連携室を設置し、医療機関との連携、町民の医療相談や情報提供体制を充実させる。	20年度	継続	・27.4月病診連携の強化と在院日数適正化を目指し、入退院支援室(専従看護師1名)を設置。 ・28.4月県中退院調整ルールの運用を開始した。 ・28.11月退院支援加算1の基準を満たし、算定を開始した。	
10		開放型病院としての施設基準の取得	開放病床を設置し、登録医師と協力して診療体制を整備する。	20年度	継続	・38名の登録医師と協力し、診療を行える体制を整備している。 ・ひと月平均訪問診療件数40.1件、連携医院の訪問診療件数54.3件。福祉施設の訪問診療218.9件。
11		高度医療機器は、医療機関との共同利用を図る。	20年度	継続	・受託CT検査397件。紹介患者数1,447人、紹介入院数477人。本院との遠隔読影システムの実施を継続。開業医患者の術後や検査入院を受け入れ、共同指導も一部開始している。	
12		診療所医師との症例検討会・情報交換会の定期的開催	医療情報や課題などを共有し、効果的効率的な医療福祉を推進する。	20年度	継続	・町内医師と連携し施設がん検診の読影会を院内で実施。開業医による当直の支援。 ・田村地区休日当番医及び田村夜間診療所への診療協力を実施。 ・26年在宅療養支援病院2(連携型)を申請し連携医と連携し患者情報の共有を図った。
13		「研修施設」機能の充実	開業医や医療関係団体との教育・研修活動を行う。	20年度	継続	・一般住民向けのどこでも健康教室を26回開催。医療介護スタッフ向けのどこでもメディカルセミナーを5回開催。院内研修会21回実施。 ・三春病院主催の結核についての研修会を地域の医療機関や施設に案内し32名が参加した。
14	医療技術職の人材育成	臨床研修医の受入を進め、協力型臨床研修指定病院とする。	20年度	継続	・星総合病院の初期研修医7名の内科と地域医療研修を受け入れた。	
15		研修医、実習生等を受け入れ、教育の場を提供する。	20年度	継続	・研修医、各種専門学校等16件の実習見学を受け入れた。	

16	行政施策の実施機関としての機能	災害時における地域拠点病院としての機能	訓練の継続。	20年度	継続	・消防署と連携し救急患者のスムーズな受け入れができるよう体制を整備。 ・災害時における医療情報収集のための衛星電話購入。
17		広域的連携を図り、非常時に備えた体制の構築	研修体制の確立、情報のネットワーク化など災害時に備えた体制を構築。	27年度	継続	・ふくしま病院連携ネットワークに加入し、有事の際に県内医療機関との情報共有、連携体制を図り、合計28件の情報提供依頼があり対応した。
18		新オレンジプランへの協力	認知症サポーター養成講座の開催	27年度	継続	・27.4月「三春病院認知症サポーターチーム」を発足した。3月末現在494名のサポーターを養成した。 ・28.10月三春病院職員1名が研修を受けキャラバンナイトが合計4名となった。 ・29年度から三春町と協働で実施予定の、認知症カフェや認知症初期集中支援チーム設置の準備を開始した。

3. 保健・福祉との連携

No	取組項目	内容	状況		点検・評価	
			実施年度	28年度		
19	連携の拠点としての機能	相談室の設置	20年度	継続	・相談業務を行うとともに、リハビリテーションスタッフが事前に退院先を訪問し、指導・訓練に活かしている	
20		介護施設等との協力医療機関	20年度	継続	・三春町敬老園、あぶくま荘、こぶし荘の嘱託医、及び協力医療機関として11ヶ所受託している。	
21		保育所・幼稚園等との連携	病児保育、病後児保育の実施、子育て支援関連施設の設置検討。		検討中	・27.4月より三春町第一保育所の指定管理を受けた。保育所に看護師1名常駐している。 ・28.4月から産後ケア事業として、助産師外来を開始した。
22	予防体制の強化	保健予防事業の強化	20年度	継続	・学校職域等予防接種者 1,618人(+123人) ・健診受診者 1,289人(+25人) ・9~10ヵ月児健診年間9回100人 ・特定保健指導（積極的・動機付け支援）実施1人	
23		施設健診業務の受託	20年度	継続	・乳がん、子宮がん、胃がん、肺がん、大腸がん、特定健診のほかに企業健診（年間12社）の受託もやっている。	
24		健診データの共有化による利活用	健診結果により、町・かかりつけ医が連携した受診者の支援システム構築を検討する。		検討中	・個人情報を守りながら連携ができるようなシステム構築を検討していく。
25		介護二次予防事業受託	介護二次予防（通所・訪問）の実施	27年度	実施	・12月より週1回、体操、ミニ講義、個別リハビリの内容で通所型を実施した。合わせて12月から訪問型も実施した。
26		福島県民健康調査甲状腺検査受託	甲状腺一次検査の受託	28年度	実施	・6月に甲状腺一次検査実施の体制が整い、月2回実施している。H28は、15名の検査を行った。

4. 住民参加型のコミュニティ施設

No	取組項目	内容	状況		点検・評価	
			実施年度	28年度		
27	住民参加型施設としての役割	ボランティアの受入	22年度	継続	・延べ4団体48名のボランティアを受け入れた。	
28		職場見学・職場体験等の受入	20年度	継続	・町内等の中学・高校生22名の職場体験を受け入れた。	
29		病院フェスタの実施	職員と住民の交流を通じ、地域の声を病院運営に反映させる。	20年度	継続	・10月1日「みはるフェスタ」を開催し約240名が来所した。
30		職員の地域行事参加及び協力	地域の行事等に参加協力する。	20年度	継続	・さくら湖マラソン、三春盆踊り、三春秋祭り等に参加協力し、交流を図った。
31		コミュニティ機能	演奏会や作品展を開催し、患者と住民の交流の場を提供する。	20年度	継続	・年6回利用者対象に1階ホールで健康講座を実施し合計約96名が聴講した。 ・ボランティアコンサートを年1回開催55名が参加した。
32		キッズツアー開催	地域の子供達に病院を知ってもらう機会を作る	27年度	実施	・8月にキッズツアーを開催し6名が参加。病院ならではの体験をし様々な職種に触れる良い機会となった。

33	広報広聴機能	行政資料の掲示等	患者、利用者に町の資料を提供する。	25年度	実施	・介護保険等各種申請資料、及び行政主催の健康・家族教室の資料等について、掲示及びパンフレットを設置した
34		情報端末の設置による町からの情報提供	インターネット等による適時な情報の発信・共有化を行う。	20年度	継続	・ホームページ、町広報紙への「病院だより」掲載、病院パンフレットの作成などにより、情報発信を行った。

35

5. 地域の発展に貢献できる病院運営の実践

No	取組項目	内容	状況		点検・評価	
			実施年度	28年度		
36	地域社会に根ざした病院運営	地元出身の医療従事者の積極採用	地元採用を積極的に行う。	20年度	継続	・常勤職員数106名。内、三春町内居住者は24名、22.6%。
37		職員の地域への定住促進	地域活性化に貢献できるよう、定住を促進する。	24年度	継続	・三春町在住職員数24名。
38		地域産業との連携	産業医として事業所等の健康管理に参画、病院食材への地産地消の推進、医療関連産業の振興を図る。	20年度	継続	・病院食材には地元野菜や米を仕入れている。

6. 安全で安心な医療の提供等

No	取組項目	内容	状況		点検・評価
			実施年度	28年度	
39	医療安全管理室の活動推進	医療安全管理センターと連動した活動を実践する。	20年度	継続	・医療安全管理室主催で全職員対象の研修会を2回開催し212名が参加。 ・病院感染症対策として手指衛生研修会で講義と実技を実施106名が参加。
40	医療安全対策の充実	医療事故等は、「医療問題の公表基準」に基づき公表する。	20年度	継続	・安全推進委員会を開催し再発防止等を協議した。
41		ひやりハット、事故等の事例の検討及び分析を行い、医療安全対策の充実をはかる。	20年度	継続	・ひやりハット事例を全職員で共有し改善策を検討。KYT研修で、潜在的なリスクについて認識した。 ・インシデント報告件数 957件 (0/336件、1/188件、2/384件、3a/35件、3b/5件、4/1件、その他8件)
42	患者、利用者が求めるサービスの提供と接遇の向上	サービス向上委員会を中心に全職員による質の高いサービスを提供する。	20年度	継続	・26年よりサービス向上委員会で、意見箱以外に利用者の口頭意見を書きとめるシステムを追加した。 ・26年シャトルバス停留所に2箇所を追加した。
43	診療の質の向上	診療体制を整備し、必要な医療の提供に努める。	20年度	継続	・H27.4月常勤医師1名が増え内視鏡検査・治療の実施日を増加し、健診対応の充実を図った。 ・外科外来の診療日を毎週金曜1日のほか、第1火曜日半日と第4木曜日半日を増加した。
44		地域のニーズを捉え、必要とされる訪問看護や訪問リハビリの実施を検討する。	24年度	継続	・リハビリ専門医の確保が課題。訪問リハビリは実施している。 ・26.7月に訪問看護ステーションを開設。訪問リハビリスタッフも配置した。
45		産婦人科の常設を目指す。		検討中	・26年星総合病院に婦人科医師1名が増加し、今後も医師確保に向け関係者に調整を依頼している。
46	医療倫理及び法令遵守に基づいた施設の管理運営	説明と同意、記録を徹底した医療を実践する。	20年度	継続	・H25.3月から電子カルテ導入により、効率的な診療システム構築を行った。
47	クリティカルパスの運用	運用により、患者にわかりやすい医療の提供、平均在院日数の短縮、チーム医療の充実に取り組む。	20年度	継続	・内視鏡的大腸ポリープ切除術に使用する薬剤の変更に伴いクリティカルパスを見直した。
48	医療人として力のある人材育成	職員の院内・院外研修の計画的な開催と積極的参加による質の向上を図る。	20年度	継続	・医療安全管理、院内感染対策関係等の研修会を21回開催した。
49		専門領域の能力開発による組織全体の活性化を図る。	20年度	継続	・自己啓発制度を活用し、14研修に延べ16名が参加した。 ・職員の資格取得支援制度により6名が新たな資格を取得。
50	病院機能評価受審	21年度内に取得を目指し、病院機能の向上と維持充実を図る。	24年度	継続	・H24.10審査を受審済み。 ・病院機能評価「Ver6.審査体制区分1」 ・30.1月の病院機能評価更新受審の申込みを行った。

7. 数値目標と実績

(1) 収支改善に係る数値

区 分	平成25年度 実績 イ	平成26年度 実績 イ	平成27年度 実績 イ	平成28年度 計画 ア	平成28年度 実績 イ	計画対比 イーア
経常収支比率 ①/②	100.4%	93.3%	94.1%	100.0%	100.4%	0.4%
医業収支比率 A/C	99.7%	95.7%	93.3%	103.3%	99.3%	-4.0%
職員給与費対医業収益比率	63.8%	67.2%	68.9%	58.4%	64.2%	5.8%

(2) 経費削減に係る数値

区 分	平成25年度 実績 イ	平成26年度 実績 イ	平成27年度 実績 イ	平成28年度 計画 ア	平成28年度 実績 イ	計画対比 イーア
材料費対医業収益比率	9.7%	10.5%	10.8%	17.0%	11.0%	-5.9%

(3) 収入確保に係る数値

区 分	平成25年度 実績 イ	平成26年度 実績 イ	平成27年度 実績 イ	平成28年度 計画 ア	平成28年度 実績 イ	計画対比 イーア
1日当り外来患者数	154人	144人	145人	146人	153人	7人
1日当り入院患者数	66人	66人	63人	79人	66人	-13人
病床利用率	76.74%	76.74%	73.49%	91.86%	76.74%	-15.12%
平均在院日数(一般病棟)	20.9日	20.9日	17.1日	18.0日	17.0日	-1.0日
患者1人当り診療収入(外来)	6,597円	6,597円	7,829円	8,400円	7,937円	-463円
患者1人当り診療収入(入院)	30,682円	30,882円	32,552円	28,000円	31,296円	3,296円

(4) 医療機能の確保に係る数値

区 分	平成25年度 実績 イ	平成26年度 実績 イ	平成27年度 実績 イ	平成28年度 計画 ア	平成28年度 実績 イ	計画対比 イーア
紹介件数	1106件	1237件	1414件	1100件	1447件	347件

(5) 指定管理者の収支(損益計算)

単位: 百万円

区分	平成25年度 実績 イ	平成26年度 実績 イ	平成27年度 実績 イ	平成28年度 計画 ア	平成28年度 実績 イ	計画対比 イーア
経常収益 ①=A+B	1,051	1,055	1,045	1,172	1,142	△ 30
医業収益 A	1,040	1,047	1,036	1,160	1,132	△ 28
入院収益a	742	744	712	811	770	△ 41
入院診療日数	365日	365日	366日	365日	365日	365日
病床数	86床	86床	86床	86床	86床	86床
1日当り患者数(人)	66人	66人	63人	79人	66人	△ 13人
(病床利用率)	76.74%	76.74%	73.49%	91.86%	76.74%	-15.12%
診療単価(円)	30,682円	30,882円	32,552円	28,000円	31,296円	3,296円
外来収益b	268	268	281	328	313	△ 15
外来診療日数	264日	264日	265日	264日	265日	1
1日当り患者数(人)	154人	144人	145人	146人	153人	7人
診療単価(円)	6,597円	6,597円	7,829円	8,400円	7,937円	-463円
室料差額c	4	7	10	10	10	0
その他の医業収益d	26	28	33	11	39	28
医業外収益 B	11	8	9	12	10	△ 2
経常費用 ②C+D+E-j	1,047	1,131	1,111	1,162	1,137	△ 25
医業費用 C(e+f+g+h)	1,043	1,094	1,110	1,123	1,140	17
人件費 e	663	704	714	678	727	49
医業収益比率	63.75%	67.24%	68.92%	58.45%	64.22%	5.77%
材料費 f	101	110	112	197	125	△ 72
医業収益比率	9.71%	10.51%	10.81%	16.98%	11.04%	△ 7.18%
その他経費 g(指定管理負担金含む)	236	236	238	243	242	△ 1
医業収益比率	22.69%	22.54%	22.97%	20.95%	21.38%	△ 1.69%
減価償却・資産減耗費等 h	43	44	46	5	46	41
医業外費用 D	4	1	1	1	1	0
その他の費用 E	4	36	0	0	1	1
経常損益 ③=①-②	4	△ 76	△ 66	10	5	△ 5
参考						
星総合病院会計より受入 i	0	76	66	0	0	0
星総合病院会計へ繰入 j	4	0	0	0	5	5
指定管理者負担金 k(gに計上)	28	28	28	38	28	△ 10